

第四次御殿場市総合計画（後期基本計画）

× 国土強靱化地域計画

× まち・ひと・しごと創生総合戦略の一体策定

自治体名

■ 静岡県御殿場市

策定期期

令和3年2月

事例の概要

国土強靱化地域計画を策定するに当たり、市政運営の総合的な指針である総合計画及び地方創生に深く関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に策定した。効率的かつ効果的な計画策定を進めるとともに、計画間で連携した施策の検討につながり、地域強靱化と地方創生が連関した取組の実現にも寄与した。

取組の概要・ポイント

取組の背景や課題

- ✓ 地域計画の策定に当たっては、市の防災担当のみならず部局横断的に検討すべきであり、また、市議会や住民の参画・意見も得ることが望ましいと考えた。
- ✓ 総合計画や地方創生に深く関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体策定することで、十分な検討体制を構築するほか計画間相互の整合性を確保し、効率的かつ効果的に計画策定を進めることとした。

取組の内容

- ✓ 「御殿場市国土強靱化地域計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を兼ねる総合計画を策定。これら共通の施策を設定するとともに、各施策と国土強靱化に係るリスクシナリオ等との関係も整理。
- ✓ 企画課がとりまとめ部局となって庁内の総合調整を一元的に担い、総合計画等との一体策定を推進。
- ✓ その過程で市議会との意見交換や報告、総合計画審議会への諮問やパブリックコメントを行い、各計画に対する意見収集等を一体的・効率的に実施。

取組の効果

- ✓ 各計画の進捗管理が容易になり、様々な施策の指標のフォローアップや目標年次の設定が一体策定した計画を参照するだけで可能に。
- ✓ 計画間で連携した施策の検討にもつながり、地域強靱化と地方創生が連関した取組の実現にも寄与。

一体策定した計画の構成

【基本計画（総論）】

総合計画
(第四次後期基本計画)

×

国土強靱化
地域計画

まち・ひと・しごと
創生総合戦略

総論で総合計画における2計画の対応関係を整理

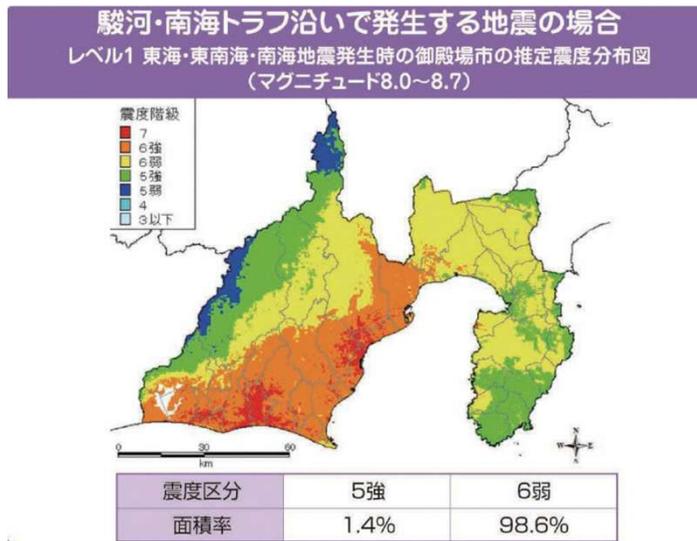
【基本計画（分野別計画）】

分野別計画（産業、健康福祉、防災・市民生活等）

総合計画、2計画共通の施策を分野別に整理

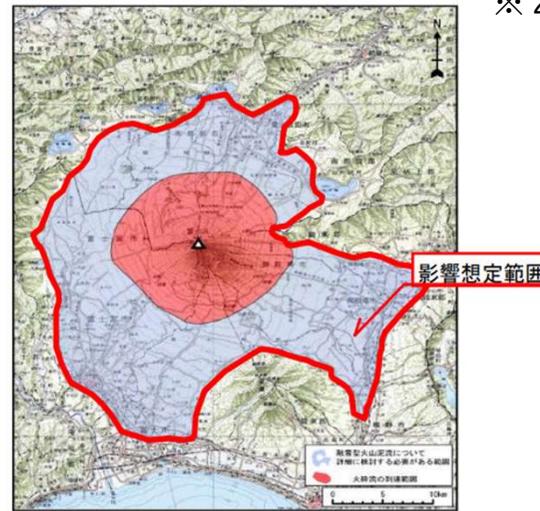
大規模自然災害のリスク想定

- 御殿場市は、南海トラフ地震が発生した場合、震度6弱以上の揺れが予想されている（南海トラフ地震防災対策推進地域にも指定されている）ほか、富士山を対象とした火山災害警戒地域にも指定されていることから、大規模自然災害の発生に備え、これまでもハード・ソフト両面での各種対策を進めてきた。



※1

図4 <融雪型火山泥流の影響想定範囲>



※2

- ※1：御殿場市防災マップから抜粋。市の大部分で震度6弱の揺れが予想されている。
- ※2：御殿場市地域防災計画から抜粋。火山泥流のほか噴石、火砕流・火砕サージ、溶岩流及び降灰による被害が生じることも予想されている。

全庁的な計画策定体制の構築及び他の計画との整合性確保の必要性

- 地域計画の策定を進めるに当たっては、市の防災担当のみならず部局横断的な検討と、市の施策全般に渡る取組の推進が必要であり、また、市議会や住民の参画・意見も得ることが望ましいと考えた。
- 総合計画や地方創生に深く関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体策定することにより十分な検討体制を構築するほか、計画間相互の整合性を確保し、効率的かつ効果的に計画策定を進めることとした。

■ 一体策定の過程

- 令和2年度に御殿場市の第四次御殿場市総合計画前期基本計画が満了することから、令和元年度から企画課にて第四次御殿場市総合計画後期基本計画の策定作業を開始した。
- 第四次御殿場市総合計画基本構想に示す将来都市像「緑きらきら、人いきいき、交流都市御殿場」の実現に向け市政全般にわたる中・長期的な政策・施策を体系的に整理するとともに地域の強靱化に関する最上位計画である「国土強靱化地域計画」と、地方創生に関わる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体で策定する方針とした。
- 第四次御殿場市総合計画後期基本計画全編が国土強靱化地域計画を兼ねることで、地域計画に位置付ける各施策の実効性の向上や、計画策定作業の効率化を図った。
- 総合計画に掲げる政策が、地域計画における事前に備えるべき目標やリスクシナリオのどれに関連するものであるのか、位置付け・対応関係を整理し、相互の整合性を図った。
- また、総合計画と地域計画の国土強靱化に向けた事業レベルの取組については、総合計画基本計画に示す各施策に係る実施計画を毎年度ローリングで見直していくことで、効果的な取組の推進を図ることとした。

地域計画と総合計画の施策の対応関係

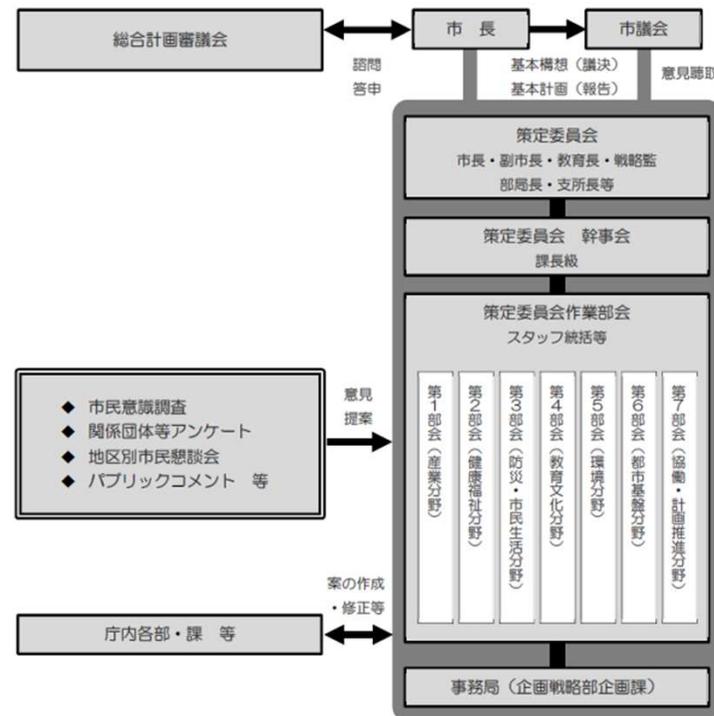
事前に備えるべき目標と起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）より一部抜粋

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）		国の基本計画におけるプログラム	国の基本計画における重点プログラム	総合計画における位置付け（政策）	時間軸上の整理			
						発生直後	応急対策	復旧	復興
1. 直接死を最大限防ぐ	1-1	住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生	1-1	○	3-1 危機管理体制の構築 3-6 交通安全の推進 6-2 活力ある土地利用の推進 6-3 面的な都市と拠点の整備 6-4 潤いのある都市環境の整備 6-5 すみやすい住宅・環境の整備 6-6 交通基盤の整備	●	●		
	1-2	密集市街地や不特定多数が集まる施設における大規模火災による多数の死傷者の発生	1-2		3-1 危機管理体制の構築 3-2 消防・救急体制の強化 6-2 活力ある土地利用の推進	●	●		
	1-3	大規模な火山噴火による多数の死傷者の発生	1-5	○	3-1 危機管理体制の構築	●	●		
	1-4	豪雨や大地震に伴う土砂災害による多数の死傷者の発生			3-1 危機管理体制の構築	●	●		
	1-5	暴風雪や豪雪による多数の死傷者の発生	1-6		3-1 危機管理体制の構築	●	●		
	1-6	積雪寒冷を想定した避難体制等の未整備による被害の拡大			3-1 危機管理体制の構築	●	●		
	1-7	避難路における通行不能			3-6 交通安全の推進 6-6 交通基盤の整備	●	●		
	1-8	河川の大規模氾濫			3-1 危機管理体制の構築 3-3 治山・治水対策の充実	●	●		
	1-9	その他の異常気象による多数の死傷者の発生			3-1 危機管理体制の構築	●	●		
	1-10	近隣地域の被害が大きく、多くの市外避難者が集中し、混乱が発生する事態			3-1 危機管理体制の構築 7-7 広域連携の推進	●	●		
2. 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	2-1	被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止	2-1	○	3-1 危機管理体制の構築 5-1 地球温暖化防止活動の推進 5-5 水環境の保全・活用	●	●		

一体策定の体制

- 策定作業では、企画課がとりまとめ部局となり、庁内の総合調整を一元的に担うことで、多岐にわたる強靱化の取組に関して調整機能を果たすことができる体制を構築した。また、市議会との意見交換や報告、総合計画審議会への諮問や市民へのパブリックコメントの実施も各計画をまとめて一体的に行うことにより、効率的な意見収集を行った。
- 策定後は、5年ごとに行われる基本計画改定にあたり、総合計画審議会において評価検証等を行うとともに、毎年度作成する基本計画実施計画の中で、事業担当課と企画部門、財政部門とのヒアリングにより、前年度末までの事業実施状況を把握し、事業の評価と改善につなげるPDCAサイクルにより個別事業の進捗管理を行っている。

策定体制



Point

- 企画課がとりまとめ部局。ただし、庁内関係課にも作業部会等において積極的な関与を促す。

■ 一体策定の効果

<作業の効率化に寄与>

- 地域計画を総合計画と一体的に策定することにより、その過程において全庁的な検討のほか、市議会・住民の参画を得て様々な視点による意見の提出が行われ、国土強靱化の視点においても部局横断的かつ効率的に計画の検討を進めることが可能となった。また、計画の進捗管理も容易になり、様々な施策の指標や目標の設定が一体策定した計画を参照するだけで可能になった。

<分野横断的な施策の検討が可能に>

- 施設整備において、あらゆる分野で防災上の機能や役割を検討するなど多様な機能を複合的に導入することにより、事業効果の向上を図ることにつながっている。

<地方創生と国土強靱化の取組が連携>

- 計画の一体策定により国土強靱化と地方創生が連携した施策の検討も進んでいる。具体的には、新たな観光・経済の拠点として、地域経済の活性化に寄与し、総合的な防災機能をあわせもつ（仮称）富士山の恵み産業パークの整備を進めている。

（仮称）富士山の恵み産業パーク 基本構想



全体俯瞰パース

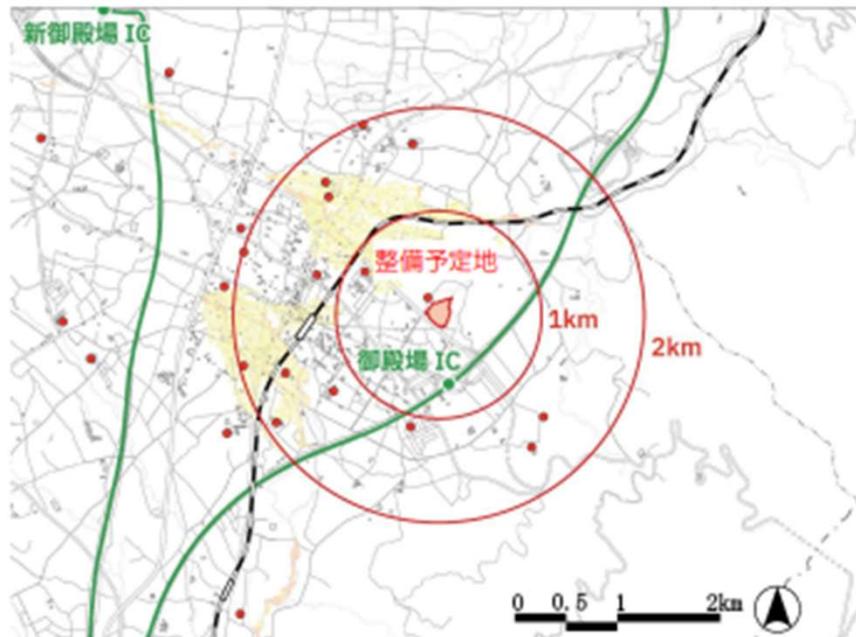


わくわくゾーン（広場）と回廊のイメージ

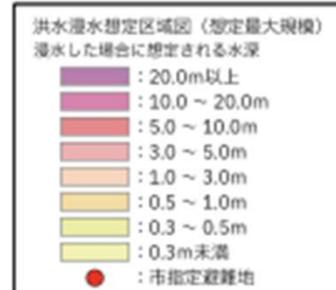
取組の効果と今後の展開（2/3）

（仮称）富士山の恵み産業パーク 基本構想

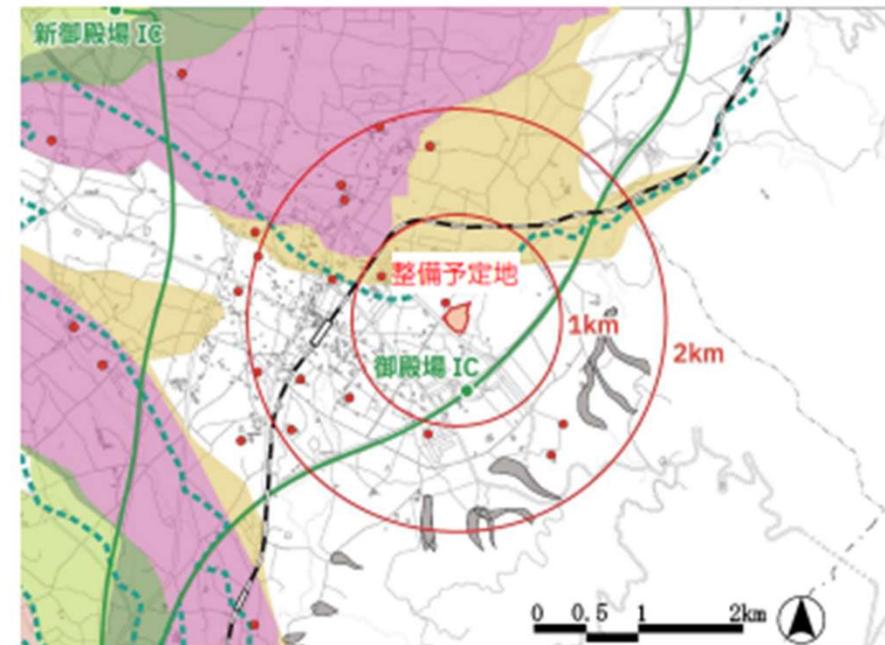
ハザード状況：洪水・浸水



【出典】地理院地図vector
静岡県地理情報システム
御殿場市避難地マップ



ハザード状況：富士山溶岩流、土石流



【出典】地理院地図vector
御殿場市富士山火山
防災マップ
御殿場市避難地マップ



- （仮称）富士山の恵み産業パークは、経済活性化と防災拠点としての機能を両立させるため、主要道路・緊急輸送道路やICなどからアクセスしやすく、かつ、災害リスクの少ない立地に整備予定。

■ 周囲の声（庁内職員・住民・企業）

- 政策・施策の推進に当たって、様々な計画の関連性が明確化された。（庁内職員）
- 総合計画と国土強靱化地域計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略の3つの計画が関連性を持ち、効率的に作成されたことは評価できる。（庁内職員）

■ 今後の展開

- 企画課が計画策定を主導することで防災担当（危機管理課）の主体性や関与の度合いが低下しないよう、今後計画を改定する際には、強靱化に関係する全ての部局がより主体的に関わる体制を検討予定。
- 令和8年度からは、第五次御殿場市総合計画前期基本計画により、政策・施策が推進される予定（引き続き企画課がとりまとめ部局）。第四次御殿場市総合計画の方針を継承し、一体策定を継続して、政策・施策の効果向上を図っていく。（将来都市像：緑きらきら、人いきいき、未来へつなぐ交流都市 御殿場）

■ 取組と地域計画の関係

【地域計画における記載】

- 「第四次御殿場市総合計画後期基本計画は、御殿場市国土強靱化計画と一体的に策定しており、全編が御殿場市国土強靱化計画を兼ねる」としている。また、「国土強靱化に向けた事業レベルの取組については、総合計画基本計画に示す各施策に係る実施計画を毎年度ローリングで見直していくことで、効果的な取組の推進を図ります」と記載している。
- 地域計画の詳細な内容は第6章「後期基本計画の概要」の中でまとめている。
- 第五次御殿場市総合計画前期基本計画（案）では、（仮称）富士山の恵み産業パーク整備事業を主要事業に位置付けつつ、地域計画で設定したリスクシナリオ「観光業、商工業等あらゆる産業の被害拡大と停滞」に対応するものとして整理し、事業を着実に推進する裏付けとなるよう次期総合計画・地域計画の策定を進めている。